

感動そして感涙の義務教育最後の授業が迫る！

春の日差しがまぶしく、暖かい日が続いています。本日、明日の第39回卒業証書授与式のための予行が実施されました。今年度の卒業式本番については、会場に参列できるのは、卒業生と保護者各家庭2名、来賓5名（甲斐市市長 保坂武様、PTA 本会役員4名）、在校生の代表として2年生全員と1年生の生徒会本部役員、そして先生方となります。

会場の広さの関係から、1年生については卒業証書授与式には参列することができません。そこで、本日の卒業式の予行練習の時の3年生の様子を1年生にも見てもらい、また少しの時間ですが、全校でお別れ会ができればと計画を以前からしていました。そこで、生徒会本部役員と先生方にも相談し、1、2年生と先生方とで卒業する3年生に、これまでの3年生への感謝の気持ちと、これから歩むそれぞれの道で頑張ってもらいたいという気持ちを込めて、昨年度と同様に、手作りのマリーゴールドのコサージュづくりに取り組みました。マリーゴールドの花は、春には先生方にも協力してもらい、今年度は本校の校舎のまわりに植え育ててきました。マリーゴールドの花々は春から秋まで本校の校舎周辺を彩ってくれていました。マリーゴールドの花言葉は『逆境を乗り越えて生きる』、コロナ禍という逆境のなかで頑張ってきた卒業生のみなさんは、これからの人生のなかで、困難や逆境にぶつかることもあると思いますが、そんなときにもたくましく乗り越えていってほしいという願いを込めてつくりました。限られた時間の中で、コサージュの作成に真剣に向き合う1、2年生と先生方の姿に、この玉幡中の素晴らしさを感じ、明日はこのマリーゴールドのコサージュを胸に、3年生には新たな旅立ちの時を迎えてほしいと思います。本日、予行練習の後のお別れの会のなかで、在校生の代表から3年生の代表にコサージュの進呈がありました。

日常の長い人生の中には、様々な節目があります。そのなかでも義務教育9年間を修了する15歳という年齢は、大きな人生の節目であると言われる。だからこそ、中学校の行事の中では、義務教育最後の授業である『卒業式』が最も重要な行事であると言えます。明日は、この大切な節目を飾るにふさわしい式典としてほしいと思います。そして、このような場面で必要なことは「行動の美しさ」です。「立ち居振る舞い」を意識することが大切になります。正しい立ち姿、そして立礼。これらは言葉を使わない非言語コミュニケーションの典型です。卒業生のみなさんには言葉や、姿や立礼の中に、感謝や尊敬の念、その他言葉に言い尽くせない真心を込めてほしいと思います。卒業生は、人生の節目の瞬間を、姿勢、所作、返事そして呼びかけ（言葉）に想いを込めます。今日の予行練習では、その卒業生の姿と向き合った在校生にとっても、大切な機会となったことでしょう。今日の予行練習も明日の本番と同じように厳粛な空気の中での見事な式典となりました。



玉幡中の達人に学ぶ

玉幡中学校にはたくさんの達人がいます。生徒会本部役員の生徒のみなさんも達人だと思います。学校のために、みんなのためにと、これまで自分の時間を割いて、様々な活動を行ってきてくれました。生徒会本部役員のみなさんの献身的な言動が、今年度の玉幡中の生徒会活動を推進させてくれました。今年度もコロナに翻弄された一年間でしたが、そんななかでも、全校生徒のためにと努力を重ねてくれました。そんな生徒会本部役員の3年生にインタビューをしてみました。

① 一年間生徒会本部役員をやってきて、今どんなことを思っていますか。

全校の前で話をしたり、みんなをまとめようと頑張ったりととても良い経験でした。普通の中学校生活では経験できないようなことができたので、自分が成長するととてもよい機会になったと思います。(3年2組 三浦壮真さん)

私にとっては生徒会長に立候補することが大きな挑戦でした。生徒会活動を経験できたからこそ、これからも挑戦しようという気持ちを強く持てるようになりました。すごくいい経験ができたなと思っています。いつもどおり一人の生徒として学校生活を送るよりも体験できないことや楽しく内容の濃いものにすることができたからです。今回学んだことはこれからの生活にもいかせると思うので今まで頑張ってきて良かったと思っています。たくさんの人に支えてもらったこともあって様々な人に感謝することやありがたさを強く感じました。(3年3組 勝村陽葉さん)

② 個人的に成長したなと思うことがあったら教えてください。

人のために何かをやるという意識ができ、活動することができました。また周囲の状況を見て行動できるようになりました。何よりこの仲間と一緒に活動できたことがよかったと感じています。(3年3組 籠原遥真さん)
一年間活動してきて、協調性が大切であることを学びました。人の考えを尊重することの大切さも学ぶことができました。この仲間と一緒に活動できたことを誇らしく思っています。(3年1組 秋山琥さん)

③ これからの生徒会役員や1, 2年生に託したい想いやメッセージがありますか。

どんなにつらくても仲間と協力して、笑顔なら乗り越えられるはずです。全校を引っ張り成功へ導いた達成感は最高でした。みなさんもがんばってください。応援しています。(3年2組 大沼優希さん)

ひとつひとつのことを大切に、そして仲間との時間を全力で楽しんでほしいです。活気あふれる玉中をつくってください。応援しています。玉中のみんなが大好きです。(3年1組 雨宮清香さん)

玉幡中を発展させることができたのは本部役員だけでなく全校生徒のみなさんの協力があってこそだと思います。玉幡中をより良くしていくのは全校のみなさんだと思います。生徒会本部役員を支えてほしいと思います。そして生徒会本部役員のみなさんは、今までの玉幡中の伝統を引き継ぎ、さらによい学校へと発展させてください。卒業しても応援しています。(3年3組 中村夢吹さん)

学校のため、全校生徒のために頑張ってきたからこそ、このような素晴らしい、深い言葉がでてくるのだと、私自身学ばせてもらいました。

令和4年度 生徒会本部役員

| | |
|------|---|
| 会長 | 勝村 陽葉 (3年3組) |
| 副会長 | 大沼 優希 (3年2組)・中村 夢吹 (3年3組) 村山 惺七 (2年2組) |
| 事務局長 | 籠原 遥真 (3年3組) |
| 書記 | 三浦 壮真 (3年2組)・滝沢陽菜音 (2年2組) |
| 議長 | 雨宮 清香 (3年1組)・秋山 琥 (3年1組) |



